

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 24年 5月 11日(金曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 30分
会議名	丸子地域協議会(平成 24年度第 2回)		
出席委員	齊藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、北村好美委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、齊藤實委員、笹井文雄委員、佐藤重喜委員、清水三枝委員、竹花和彦委員、竹花節子委員、中澤ゆかる委員、松山慶子委員、宮下正明委員【欠席】宮坂雄一委員、宮崎涼委員、村松正孝委員、山本進委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮澤センター次長兼地域振興課長、児玉地域振興政策幹、芹澤市民生活課長、高野健康福祉課長、小相沢建設課長、矢島丸子学校給食センター長、小林消防課長、桜井産業観光課長補佐、金井建設課管理係長、羽毛田建設課管理係主査、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		
会議次第	<p>1 開会（宮澤センター次長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の確認、欠席委員の報告 <p>2 あいさつ（齊藤会長）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前回の第 1回会議において予定した 5月 28日より前に御審議いただきたい案件があり、本日、急遽協議会を開催することになりました。今回の協議会開催に関する詳細事項は、後ほど事務局から説明がありますが、具体的な協議事項は、昨年 7月の協議会において専門部会を設置し、研究を進めてきた丸子地域の公共交通である「まりんこ号の運行見直し」についてです。専門部会での研究結果がまとめ、市へ意見書を提出する事に関して、御協議いただくものです。よろしくお願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局（担当：建設課）から臨時開催の経過説明 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「まりんこ号」の運行見直しを行う手順について、最終的には運輸局の許可が必要となるが、その前に上田市が設置している「上田市公共交通活性化協議会 兼 地域公共交通会議」の承認を受け、その後に運輸局に申請することになる。当初、上田市地域公共交通会議の開催を 6月と想定していたが、5月 24日に早まったため、この会議に向け地域協議会の意見を統一し、意見書としてとりまとめる必要があり、急遽臨時開催させていただき、意見書の承認をお願いした次第である。</p> </div> </div> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 公共交通に関する意見書について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・部会長から資料に基づき詳細説明。 ・アンケート結果と見直し案は、丸子地域自治センターだより 4月号に掲載し、意見募集を行った。3件の問い合わせがあり、3件とも見直し案に賛成との内容だった。 ・協議会として上田市へ意見書を提出するにあたり、意見書および提言書を御理解のうえ、協議会委員皆様の御了承をお願いしたい。 <p>資料：意見書（案） 丸子地域循環バス「まりんこ号」に関する提言書（案）</p> </div> <p>主な質疑・意見の内容</p>		

(委員) まりんこ号の大屋駅への接続について教えてほしい。

(部会長) 大屋駅への接続は、公共交通として千曲バスさんの既定路線があり、その路線と競合しないようにといった観点もあり、接続については考えていない。確かに、アンケートの中で接続してほしいとの要望はあるが、提言書については、現行のものをとにかく乗りやすいようにということでまとめている。

(委員) 提言書(案)2 ページ上部、国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金 1,741 千円で、「まりんこ号」を運行していくということか。

(建設課長) 昨年度から国の補助金が公共交通事業者へ出ており、その分を差し引き、足りない分を市へ請求がくるという形になっている。平成 22 年度はその補助金がなかったため、昨年度より経費が増えているというグラフになっている。

(委員) 利用者数が増えれば、無料になるのか。

(建設課長) いいえ、無料になるということではありません。

(委員) 利用者数が増え、収入が運行経費を上回るようになればいいと思うが。

(建設課長) 運賃として 1 回 200 円(障害者は 100 円)いただいており、運賃収入は約 100 万円である。ただ、運行経費が 1,600 万円くらいかかっており、とても運賃収入では追いつけないというのが現状である。

(委員) その差額を上田市が補助しているということか。

(建設課長) はい。上田市が差額を負担しているということです。

(委員) その差額が 1,600 万円くらいということか。

(建設課長) 平成 23 年度でいうと、資料 1 ページ下のグラフと表にあるように 14,207 千円を上田市が負担している。

(委員) 上田市商工会の事業で、武石を中心にデマンド交通をやっており、沢田商店街まで入っている。現在、腰越地区の一部からも利用登録申請が出ている状態である。昨年度のデマンド利用は 11,000 人、補助金は 1,400 万円いただいており、一人当たり片道約 1,300 円、往復すると 2,600 円掛かるわけである。合併して上田市になり、「まりんこ号」の存続もまだまだお願いできるなと思うが、上田市の一地域の循環バス事業とデマンド交通とのバッティング、重なり合う部分があるわけで、将来的に地域の足となる部分であるなら、もう少し踏み込んだ形で考えていく必要があると思う。利用度のボーダーラインが大体 1 万人ということでその辺の考慮、現在バッティングしている部分、また、例えば安曇野市のようにオールデマンドにするなどといった部分も将来的にはもっと考えていかなければいけないと思う。この改正案については、よく考えていただいており、現段階ではこれ以上はないと思う。ただ、これから 5 年後、10 年後の利用者減少傾向があり得るとするならば、「まりんこ号」やデマンド交通含め、もっと抜本的に考えていかなければならないと思う。

(部会長) デマンド交通については、専門部会でも何回も話が出た。武石のデマンド交通について委員さんからもお話があったが、年間の利用者は、平成 17 年から平成 22 年度まで約 1 万人前後である。利用実態は、保育園児、小・中学生が約 2,500~2,800 人。上田観光自動車の 9 人乗りジャンボタクシーワゴンタイプ 1 台と和田バス(有)の 9 人乗りジャンボタクシーワゴンタイプ 1 台の 2 台を使っており、運転手が 1 日 1.5 人で運行している。デマンド交通というと、すぐに乗れるとイメージされるかもしれないが、武石のデマンド交通は発着地限定である。そのエリア内に腰越の一本木神社、腰越公民館の

旧丸子地区ではこの二箇所が入っているが、バス停がないため乗り降りは限定されている。そして、発着地としては、中央病院・丸子駅・沢田商店街・岸医院・大屋駅という形で限定されている。また、運営は商工会に委託されており、商工会に市民が登録していないと利用できない登録制度になっている。果たして、そうした制度に現状の「まりんこ号」を持っていった方がいいのかどうかという話も出たが、システムの変更に非常にお金が掛かり難しいのではないかという結論であった。東御市のデマンド交通についても、建設課から資料を出していただき協議を行ったが、東御市の場合は、既定のバス路線と競合していない部分が多いということだった。

(委員) これから「まりんこ号」が始まりますという最初の時に時刻表をいただいた覚えがあるが、長い間それ一枚だったので、停留所の場所などほとんど忘れていた。丸子地域の人口の中で60代が一番多いということで、10年後には私たちも公共交通を利用することになってくると思う。「乗って残す」という意味でも、今から積極的に地域の住民の方にPRしていかなければいけないと思うが、PRについてはどうなっているか。

(建設課長) 交通専門部会でも、「PRが少ない」「知らない人が多いので是非PRを」という御意見をたくさんいただいたが、たしかに時刻表を保管している御家庭は少ないかと思う。今回の見直しにともない改正時刻表などの配布、丸子テレビや有線放送などを通じて広報する事などを考えていきたい。また、地域自治センターだより4月号に変更案を掲載したので、6月号や8月号にも協議会だよりの中に少しずつでも記事を掲載していきたいと考えている。デマンド交通については、将来的なことはわからないが、検討するとなれば丸子地域だけのことでなく、全市的に検討をすることになると思う。今回の意見書案は、早い時期に、今あるバスを出来るだけ活かし、経費を抑えつつ、少しでも長く使い存続していくことで意見集約した結果である。デマンド交通を実施するには多額の経費がかかるので、今できることを意見書案として提案していただいたということを御理解いただきたい。

(委員) 専門部会でもPR部分、例えば車体へのプリントはどうかとか色々な意見があったと思うが、今回は「まりんこ号」の運行見直しに関する提言という形をとっており、その部分がこの意見書全体に含まれていない感じがある。それについてはどうか。提言は、1点目は継続性の必要性を謳っており、2点目は利便性を高めながら運行経費の削減、3点目は市民へのお願い、市民自体も乗って残すということを覚悟していきなさいというような意見書になっていると思うが、こちら側のバスへの親しみが湧くようなバスのづくりをする、PRをするという意見をここに載せた方がいいのではないかと思う。それについての検討はどうか。

(建設課長) 部会の中では車体を小さくしたらどうかといった色々な意見があったが、提言書であるので大きな課題のみについて載せている。今後も検討していただき、御意見を伺いながら車体の見直しやPRをしていければと考えている。

(部会長) 確かに、専門部会でもソフト面を強化しなければ利用者は増えないという意見が非常に多かった。6月の公共交通会議に間に合わせて皆さんにもっとやっていこうという形で進めていたわけだが、それが5月24日に変わったということで、急遽今までのところの中でとにかく会議に掛け、承認していただいて一歩進めないといけないということだったのでこういう形になった。まだ専門部会が解散するわけではないので、ソフト面についてはこれからも継続して審議していきたいと思っている。また、新しい

委員さんにも加わって検討いただきたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。
(会長) 意見書の提出は、正副会長と笹井部会長に一任いただくということでよいか。
全委員が了承

4 その他

(1) 次回以降の会議の日程等について

・ 第3回丸子地域協議会 平成24年5月28日(月曜日)午後1時30分から
丸子地域自治センター4階 講堂
・ 年間行事予定表(案) 印は、6~12月までの開催可能日
・ 6月以降の開催日については、次回協議いただきたい。
資料:平成24年度丸子地域協議会年間行事予定表(案)

(2) その他

(委員) 都市計画道路について見直す委員会等を立ち上げていただきたい。以前聞いた時に、都市計画の道路を何本も引いてあるが、その上にまた環状道路の計画が入ってきているということだった。計画性が全然ないと思われるので、それによつての迷惑もあると思う。具体的には、鉄筋コンクリートのような建物が建てられない、建築確認を出す場合においては誓約書を書かなければいけないといった問題がある。前に引いた道路ができないのならば計画をなくすということなどを、この中で研究をしていただきたい。

(建設課長) 都市計画道路については、昭和20年代のまだ電車がある頃のまちづくりによるものであり、その頃とは交通体系が大幅に変わり、実現性のない計画も含まれている。都市計画道路見直しについては、本庁の都市計画課で昨年も検討しているが、都市計画法できめられていることもあり進みにくいところもある。都市計画道路見直しにあつては、地域の皆さんの同意等が問題になってくる。地域の同意をいただければ見直しも進むのではないかと感じている。

(会長) 協議会の検討課題になるかどうか等含め、次回会議までに建設課とつめたい。

(委員) ツルヤさんの裏側からイトウ商店さんまで抜ける細い道がある。今でも交互通行がなかなかできない状態であるが、2年後に丸子中央病院が移転し、病院へお勤めの看護師さんらが通勤で相当あの道を利用すると思う。また、保育園の通園などあの一画が渋滞するのではないかと思う。できれば堤防道路のようなものができればいいと思うが、そうした計画があるなら教えてほしい。

(建設課長) カネボウ跡地の道路としての出入口は、現在のところ中丸子側からと下丸子側からの二箇所しかなく、施設が充実してくると渋滞も増すかと思う。委員が言われた別所丸子線方面で依田川橋付近へ出る道路については計画した時期もあった。課題の一つであることは承知している。

(会長) 地域協議会は、地域の活性化のために大いに研究し、提案していく会である。今後とも是非色々な意見で問題を挙げていただき、必要があればここから提言していく。あるいは上田市へ意見書として出す、提言していくという形で今後も進めていきたいと思っている。

(委員) 前期(第3期)は住民基本条例や地域まちづくり方針の見直し関係が最優先で、後半になってやっと専門部会を立ち上げた状況だった。先ほど専門部会立ち上げの提案

があったが、前回同様、新たな専門部会の立ち上げを研究会か何かの方法論をとってやるのか、あるいはいくつか案を挙げ、どれかに関して専門部会を立ち上げるのか。今期の道筋を会長はどのように考えるか。

(会長) 私も 2 期目に入ったが、1 期目は就任してすぐにまちづくりの見直し案で 1 年を棒に振った形である。先日の辞令の委嘱式で「いよいよもって地域内分権がより進んでくる」という話があった。丸子地域においても、これから各地域間競争、地域間格差もどんどん広がってくる可能性がある。頑張ったところが伸び、怠っていれば遅れていくという感じに受け取っている。会長としては、地域活性化、丸子地域が良くなるための提言はどんどんしていきたい。積極的に取り組んでいきたいと考えている。

(センター次長) 今回は、地域公共交通関係の提言ということで急遽会議を開催させていただいた。本来ならば、28日の協議会の中で、そういったことも含めて協議していただく予定でいた。先ほどの専門部会を立ち上げてほしいという意見等は、28日の次回会議の中で再度御協議いただく形がいいと思う。

(会長) 次回の協議会で改めて協議するとしていたい。

5 閉会 14:30